

滋賀県近江八幡市におけるこども・若者意見反映サポート事業

「こども・若者意見反映サポート事業」の第四弾として、令和6年2月7日(水)に滋賀県近江八幡市へファシリテーターとこども家庭庁職員を派遣しました。

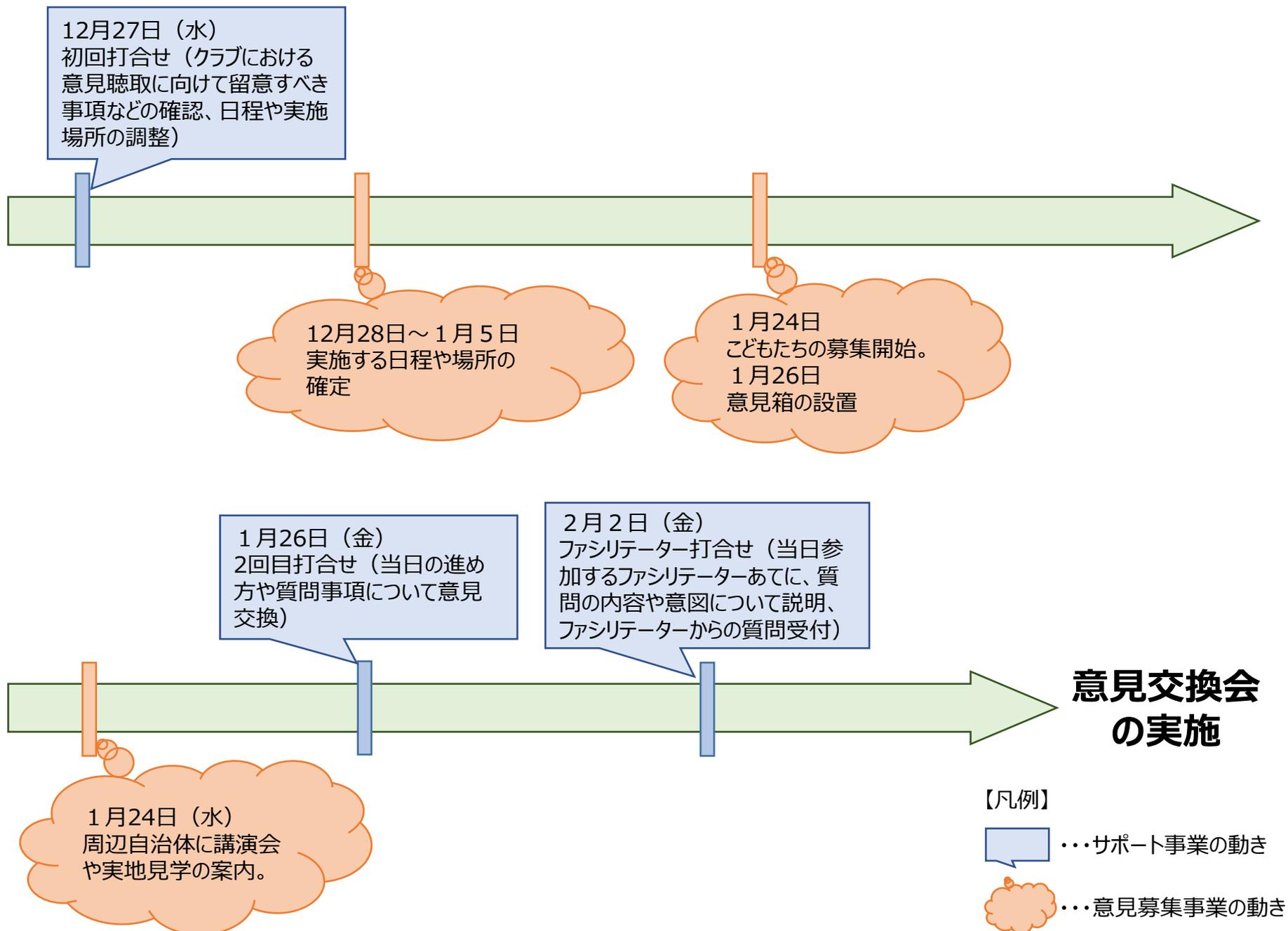
実施概要

- ◆ 事業名: 令和5年度近江八幡市子どもの意見聴取事業
- ◆ テーマ: 自分達の居場所をより良くするためにどうすべきか
- ◆ 目的: こどもの意見を聴取する場づくりをはじめとする意見反映の仕組みの構築を目指したモデル事業
- ◆ 担当部局: 近江八幡市子ども健康部子育て支援課子育て支援グループ
- ◆ 実施した児童クラブ: 安土児童クラブ「かざぐるま」
- ◆ 当日参加者: 37人(小学1年生から小学6年生まで)
- ◆ 派遣人数: ファシリテーター 4人
こども家庭庁職員 2人
- ◆ 質問した内容: ①学童では何をしている時が一番楽しいか?
②学童に「行きたくない。」と思う時ってどんなとき?
③先生とはどんな話をするの? など
- ◆ 県内市町村からの視察*: 県内9市、1NPO法人
*午前中にこども基本法やこども大綱・意見反映の重要性等についての講義を行い、午後の意見交換の様子のZoom配信およびこども家庭庁職員によるポイント解説・質疑応答

<当日の様子>



近江八幡市における事業実施とサポート事業の取組の流れ



今回近江八幡市が行った取組の工夫点など

○工夫した点

今回の意見聴取にあたって、主に以下の点を工夫した。

項目	例年
企画	意見聴取の場に参加ができない・したくないが、意見を言いたい子がいることも考えられたため、意見箱を事前に設置した。(図1参照)
進行方法	①事前に参加することもたちに今回の意見聴取の趣旨を伝え、話がしたいことなどを考えてきてもらった。 ②1班あたりを少人数のグループに分け、それぞれの班にファシリテーターと板書係と記録係を置いた。(※) ③ファシリテーターには事前にその班に参加することもたちの特徴を、クラブの支援員の方から説明してもらった。
会場づくりなど	①こどもたちの緊張を和らげられるよう、普段過ごす児童クラブで実施した。 ②一方で、支援員の方が見ると、支援員の方に対する率直な意見が出づらくなるため、支援員の方は極力現場にいないようにした。
その他	こどもたちが参加したいと思えるようなチラシを用意し、配布した。(図2参照) 合わせて保護者用資料も作成し、配布した。(図3参照)

(※) 板書係、記録係は、近江八幡市子ども健康部子育て支援課より、部内の幼児期のほか、他部署のまちづくり協働課や生涯学習課にも協力をしてもらった。(依頼をかける際は、あらゆる部門におけるこどもの意見聴取の必要性を説明するなど工夫をした。)

○次回以降の改善点

- ・話を聴く側（コーディネータ、板書係、記録係）の役割、ふるまいや聞き取りの進め方について、事前に十分共有する。(特に児童が同時・不規則に発言をした場合など、記録・板書すべき発言についての悩みやコーディネータとの連携について)
- ・意見聴取後の反映・フィードバックを想定した記録の取り方。

図1



図2

「かざぐるま」に通っている皆さまへ
みんなでクラブを楽しみましょう！
皆さんの想いを聞かせてください。

テーマ「自分たちの居場所をより良くするには」
開催日2月7日(水)
会場：安土児童クラブ「かざぐるま」

- ・参加は自由です。参加したい人はクラブの先生に伝えてください。
- ・参加できない人も、意見箱に意見を入れることができます。

皆さんが通っている放課後児童クラブをもっと楽しくよい場所とするため、皆さんから意見や想いをお聴きします。いただいたご意見については、近江八幡市と放課後児童クラブで検討し、皆さんへお答えします。

図3

保護者の方へ

近江八幡市では、こども基本法の理念に則り、子どもの意見を受け止め、「子どもにとって最も良いことは何か」という視点から子どもに関する政策を形成・実施するため、子どもの意見を聴取する場づくりをはじめとする意見反映の仕組みの構築を目指しています。

この度、安土児童クラブ「かざぐるま」にて在席している児童を対象に、放課後児童クラブをもっと楽しい場所とするために意見聴取をさせていただくこととなりました。

意見聴取への参加は自由です。開催日等は下記のとおりです。

テーマ
「自分たちの居場所をより良くするには」
開催日2月7日(水)
会場：安土児童クラブ「かざぐるま」

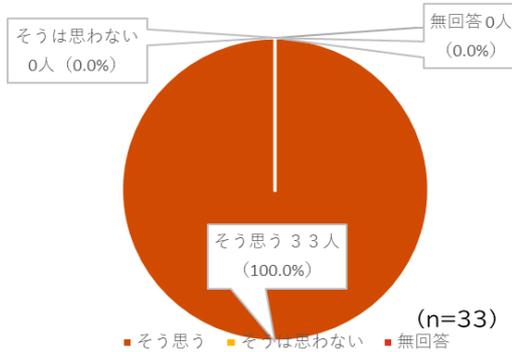
- ・子ども達の自由な意見を聴取することを目的としています。
- ・参加は自由です。
- ・当日参加できない場合は、意見箱から意見を表明できます。
- ・聴取した意見については、後日、子どもたちに回答します。
- ・保護者の見学をご遠慮いただいています。
- ・当日の様子(写真)などを、市の広報誌等で使用させていただく場合があります。

参加者・関係者の声（1）

参加者（子ども・若者）の声

【理由や感想など自由記述】

Q1. 今日は「いけんひろば」に参加してよかったですか？



あまり話をしないからひさしぶりに、楽しく、話あいができてよかった。

正直に言えてよかったのでさんかしてよかったです。

自分の言いたいことは言っていていいとわかった。

思っていたことやいろいろ言えてうれしかった。もっとよいがくどうにしたいと思った。

見学自治体の声

ワークショップ実施後に、ファシリテーターや子ども家庭庁の職員との振り返りや各市からの質疑応答の時間を設けていただき、今後子どもの意見をきく取組みを進めていく上で、課題や進め方、注意点などが確認でき、有意義であった。

実際に意見を聴く場を見ることができ、さらに随時注意点を説明いただいたことで、本市での取組をイメージすることができました。

大人側が子どもの意見を聴くためのスキルや知識を身に付けていくことが重要であり、コーディネーターの重要性について認識できた。

自治体担当者の声

- ・小学生(特に低学年)を対象にした意見聴取について、ノウハウが無かったので、今回のファシリテータの派遣がなければ、意見聴取は難しかったと思う。
- ・低学年の児童の声を聴くためには、適切な問いかけや、雰囲気づくりが大切であり、ファシリテータの存在が大切だと感じた。
- ・一方で、今後、取組を進める上で、自前でファシリテータを準備していけるかという不安がある。
- ・会場を放課後児童クラブにしたことで、こども達は普段と同じ感覚で意見を言えた。当日飛び入りで参加する子も出てきた。場の設定がうまくできたと思う。
- ・午前中に講義をしていただいたことで、当日協力した職員も意見聴取をすることの意義や大切な点を意識して、意見聴取に参加できた。
- ・意見聴取後に、大人向けの振り返りを実施したことで、意見聴取での気づきや改善点を再確認することができた。
- ・事前の打ち合わせや相談について、丁寧に対応していただき、こどもから意見を聴く際に気を付けるべき点や、聞き方の工夫について学ぶことができた。